

交流通信



このコーナーでは、田原市の国内外の交流事業や多文化共生事業の情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

姉妹・友好都市で避暑はいかが？

避暑にはぴったりの田原市の姉妹・友好都市のお出かけスポットをご紹介します。

●涼しいところへかけて「節電」

浜岡原子力発電所の停止に伴い、特に7月～9月の期間、月～水曜日の午後1時～4時の節電(ピークカット)が求められています。消費電力の大きいエアコンの使用を抑えるためにも、涼しいところへ出かけませんか。田原市の国内の姉妹・友好都市は、山や川などの自然が豊かで、避暑にはぴったりです。

◆北設楽郡設楽町(姉妹都市)

◎グリーンメッセージ

標高約850mの津具高原にあるペンションで、田原市の施設です。夏はエアコンがいらないほど涼しく、窓を開けて寝ると、少し肌寒く感じるほどです。隣接する道の駅グリーンパークでは、浅い川での水遊びやマスのつかみ取りが楽しめます。



▲マスのつかみ取り

◆長野県上伊那郡宮田村(友好都市)

◎こもれ陽の径

清流「黒川」に沿って続く、美しい緑の小道です。黒川には、中央アルプスからの雪解け水や湧き水が流れ、涼風が吹き抜けます。小道の先にある「こまゆき荘」で、天然温泉と地ビールを楽しんでみてはいかがですか。



▲涼しげな清流「黒川」

◆長野県下伊那郡阿南町(友好都市)

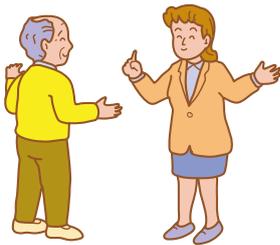
◎かじかの湯

天然温泉をはじめ、大型コテージ、テントサイト、陶芸体験施設があります。施設内には子どもの川遊びにぴったりの清流が流れ、夜には、満天の星空を眺めることができます。



▲大型コテージ

災害時の支援活動をスムーズにするためには、日ごろから、災害時要援護者とコミュニケーションをとることが大切です。また、避難の際には、声を掛け合い、地域で協力し合って、一緒に避難するようにしましょう。



◆災害時要援護者への心配りを

今回は、災害時要援護者や、その周りの方の日ごろの備えについて、ご紹介します。

みんなで取り組む防災・減災

防災知恵袋

3



「災害時要援護者」をご存じですか？

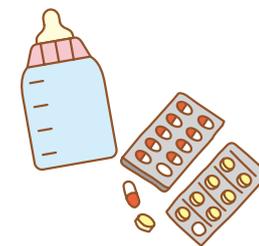
◆災害時要援護者は

日ごろから備えをしっかりと

●乳幼児のいる家庭では、ミルクやほ乳びん、離乳食、おむつなどを準備しておきましょう。

●高齢の方や障害がある方で、常用薬や補助具

(装具)、かかりつけ医療機関がある方は、それらのメモ書きやお薬手帳を準備しておきましょう。また、災害が発生したときや通院できなくなった場合に備え、常用薬の蓄えや医療的な対処法を主治医に相談しておきましょう。



●周囲の人に、自分は手助けが必要なることを知ってもらい、あらかじめ手助けを頼んでおきましょう。

▼防災対策課 ☎ 23局3548